

第4次静岡市食育推進計画における 重点事業実施計画個票

健康づくり推進課

目 次

1	元気で長生き栄養講座（葵・駿河・清水区役所健康支援課）	1
2	食生活サポート講座（葵・駿河・清水区役所健康支援課）	2
3	生活習慣病予防教室（静岡市食生活改善推進協議会）	3
4	食の安全教室（食品衛生課）	4
5	歯周病検診（健康づくり推進課）	5
6	楽しく子育て応援教室（静岡市食生活改善推進協議会）	6
7	公立こども園における食育推進事業（こども園運営課）	7
8	食に関する情報発信（学校給食課）	8
9	食に関する指導（学校給食課）	9
10	しずおかカラダにeat75（健康づくり推進課）	10
11	栄養素について学ぶ（静岡市私立幼稚園連合会）	11
12	食品ロス削減対策事業（ごみ減量推進課）	12
13	地場産物を取り入れた献立の提供（学校給食課）	13
14	地産地消活動（商店街・店頭販売）（清水農業協同組合）	14
15	しらすを食べる会（清水漁業協同組合）	15
16	生消菜言倶楽部（静岡市農業協同組合）	16
17	食育応援団（健康づくり推進課）	17
18	お茶の美味しい入れ方教室（農業政策課）	18

第4次静岡市食育推進計画における重点事業一覧

重点事業・・・計画の目標数値を達成する上で最も影響のある事業

基本方針	基本施策	No.	事業名	担当課・団体
心豊かな食生活の実現 誰もが生涯健康で現	(1)栄養バランスに配慮した食生活の実践	1	元気で長生き栄養講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
	(2)適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践	2	食生活サポート講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		3	生活習慣病予防教室	静岡市食生活改善推進協議会
	(3)食品の安全・安心に関する知識の習得	4	食の安全教室	食品衛生課
	(4)よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進	5	歯周病検診	健康づくり推進課
		6	楽しく子育て応援教室	静岡市食生活改善推進協議会
若い世代が食を楽しむ 食育の推進	(5)食育の普及啓発・情報発信	7	公立こども園における食育推進事業	こども園運営課
		8	食に関する情報発信	学校給食課
	(6)規則正しい食習慣の実践	9	食に関する指導	学校給食課
		10	しずおかカラダにeat75	健康づくり推進課
		11	栄養素について学ぶ	静岡市私立幼稚園連合会
持続可能な食を支える 環境の醸成	(7)環境に配慮した食生活の実践	12	食品ロス削減対策事業	ごみ減量推進課
	(8)地産地消の推進	13	地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食課
		14	地産地消活動(商店街・店頭販売)	清水農業協同組合
		15	しらすを食べる会	清水漁業協同組合
	(9)農林漁業生産者と消費者との交流	16	生消菜言倶楽部	静岡市農業協同組合
	(10)食文化の継承	17	食育応援団	健康づくり推進課
		18	お茶の美味しい入れ方教室	農業政策課

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		1 元気で長生き栄養講座						
担当課・団体		葵・駿河・清水区役所健康支援課						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		(1)栄養バランスに配慮した食生活の実践						
主な第4次食育推進計画数値目標		主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合 60%以上						
取組内容		低栄養予防についての講話、簡単な調理実習・試食を行い、高齢期の食生活について学ぶ						
現状・課題		(現状)参加者の理解度・満足度も高く、低栄養予防に関する知識の普及や共食の場となっている (課題)参加者の確保						
令和12年度末目標値		教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・年14回実施 ・低栄養予防に関する知識の普及			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上			S	参加者の理解度、満足度ともに100%と、目標値を大きく上回った。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、今後の生活に「バランスのとれた食事を毎食、食べること」や「自分にとって必要な食事量を知って食べること」を取り入れたいと回答する参加者の割合 75%以上			S	回答した参加者が95.9%と、目標値を大きく上回った。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理実習・試食等を行う			A	計画通り実施した。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「バランスのとれた食事」や「低栄養状態のセルフチェック」、「自分にとって必要な食事量」がよくわかったと回答する参加者の割合 80%以上			S	回答した参加者が99.3%と、目標値を大きく上回った。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		年17回(講座15回、健康づくり推進課の一体的実施事業と共同開催2回) 低栄養・骨粗しょう症予防に関する知識の普及						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、今後の生活に「バランスのとれた食事を毎食、食べること」を取り入れたいと回答する参加者の割合 75%以上						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理体験・試食等を行う						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「バランスのとれた食事」がよくわかったと回答する参加者の割合 80%以上						
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	講座の開催	14回	19回 (講座16回、健康づくり推進課の一体的実施事業との共同開催3回)					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		2 食生活サポート講座						
担当課・団体		葵・駿河・清水区役所健康支援課						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		(2)適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践						
主な第4次食育推進計画数値目標		生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合 75%以上						
取組内容		講話や調理体験を通して適切な食事量を知り、生活習慣病の予防改善を行う						
現状・課題		(現状)参加者の理解度・満足度も高く、適切な食事についての知識の普及ができている (課題)参加者の確保						
令和12年度末目標値		教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・年14回実施 ・食事量や食事バランスについての知識普及			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上			S	参加者の理解度、満足度ともに100%と、目標値を大きく上回った。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、今後の生活に「自分に合った食事の量」や「食事バランス(主食、主菜、副菜をそろえる等)」を生かせそうと回答する参加者の割合 60%以上			S	回答した参加者が97.4%と、目標値を大きく上回った。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理体験・試食等を行う			A	計画通り実施した。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「自分にあった食事の量」や「食事バランス(主食、主菜、副菜をそろえる等)」、「メタボリックシンドロームについて」、「血圧・血糖値・コレステロールについて」がよくわかったと回答する参加者の割合 60%以上			S	回答した参加者が98.3%と、目標値を大きく上回った。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		年12回実施 食事量や食事バランスについての知識普及						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、今後の生活に「自分に合った食事の量」を生かせそうと回答する参加者の割合 65%以上						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理体験・試食等を行う						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「自分にあった食事の量」がよくわかったと回答する参加者の割合 70%以上						
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	講座の開催	14回	12回					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		3 生活習慣病予防教室						
担当課・団体		静岡市食生活改善推進協議会						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		(2)適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践						
主な第4次食育推進計画数値目標		生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合 75%以上						
取組内容		減塩料理を家庭でも実践できるよう、講話や調理実習を通して、生活習慣病予防のための知識を身につける						
現状・課題		(現状)参加者の理解度・満足度も高く、適切な食事についての知識の普及ができています (課題)参加者の確保、広報の工夫						
令和12年度末目標値		各地区で年1回以上開催し、減塩等の知識について啓発する						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・年8回実施(各地区1回以上) ・減塩等の知識について啓発し、家庭での実践につなげる				評価 (S～C)	評価の理由	
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) ・市食推協の全8地区において、年1回以上開催する ・自身の食生活において減塩等の必要性に気づき、継続して実践する市民の増加				A	各地区ごとに1回、調理実習を含む講座を実施することができた。 生活習慣病予防に関する知識普及につながった。	
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 自身の食生活において減塩の必要性などについて気づくことで、継続的に実践する参加者の増加				A	減塩等の知識について啓発を行い、家庭での実践につながる内容を提供できた。	
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食推協の各々の教室について周知し、活動について理解する市民の増加				A	各地区で継続的に教室を開催することで、市民が健康的な食生活について学ぶ機会を確保することができた。 また、食推協の活動を周知する機会となり、地域における食育推進につながった。	
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 減塩が必要な理由や、減塩の工夫について知る参加者の増加				A	減塩の工夫や生活習慣病予防に関する理解促進につながった。	
令和8年度 事業計画								
取組方針		・市食推協の全8地区において、年1回以上開催する ・減塩等の知識について啓発し、家庭での実践につなげる						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 自身の食生活において減塩等の必要性に気づき、継続して実践する市民の増加						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 自身の食生活において減塩の必要性などについて気づくことで、継続的に実践する参加者の増加						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 各地区で継続的に教室を開催し、市民が健康的な食生活について学べる機会を確保する 厚労省委託事業を利用してS型教室で高齢者に減塩食の必要性の講座を開催する。						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 減塩が必要な理由や、日常生活で実践できる減塩の工夫について理解する参加者の増加						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教室の開催	9回	8回					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		4 食の安全教室						
担当課・団体		食品衛生課						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		(3)食品の安全・安心に関する知識の習得						
主な第4次食育推進計画数値目標		・食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合 70%以上						
取組内容		小学生等を対象に、食の安全に関する知識の向上が図られるよう、食中毒や添加物等の講話を行う						
現状・課題		(現状)毎年一定数の教室の応募があり、概ね高い満足度を得ている (課題)応募数によっては担当課の負担増となる場合もあるため調整が必要						
令和12年度末目標値		年9回の教室を開催し、食中毒・添加物等の知識について啓発する						
令和7年度 事業計画								
取組方針		小学校等で食中毒・添加物等についての講話を年12回実施			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 受講後アンケートにて「今日の話を普段の生活に役立ててみたい」と回答した参加者 50%以上			S	「今日の話を普段の生活に役立ててみたい」生徒が88.0%と、目標の50%以上を大幅に上回ることができた。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 受講後アンケートにて「家族に話してみたい」と回答した参加者 55%以上			S	「家族に話してみたい」児童が77.2%、目標の55%以上を大幅に上回ることができた。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食の安全教室をやむを得ない場合を除いて、100%依頼に応じる			A	依頼すべて(19回)に応じることができた。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 受講後アンケートにて「よくわかった・わかった」と回答した参加者 90%以上			S	「よくわかった・わかった」児童が92.4%と、目標の85%以上を大幅に上回ることができた。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		小学校等で食中毒・添加物等についての講話を年12回実施						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 受講後アンケートにて「今日の話を普段の生活に役立ててみたい」と回答した児童 50%以上						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 受講後アンケートにて「家族に話してみたい」と回答した児童 55%以上						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食の安全教室をやむを得ない場合を除いて、100%依頼に応じる						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 受講後アンケートにて「よくわかった・わかった」と回答した児童 90%以上						
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	安全教室の開催	20回	19回					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		5 歯周病検診						
担当課・団体		健康づくり推進課						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		(4)よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進						
主な第4次食育推進計画数値目標		定期的に歯科健診を受診している市民の割合 85%以上						
取組内容		満40歳になる市民を対象に「無料の歯周病検診」を実施						
現状・課題		(現状)成人健診まるわかりガイドの配布を通じ、検診制度が市民へ周知されつつある (課題)受診者数増加のために、幅広い周知活動が必要						
令和12年度末目標値		成人健診まるわかりガイドの配布を通じ、検診制度を市民へ周知し、受診行動につながっている状態						
令和7年度 事業計画								
取組方針		検診の委託実施 検診制度の周知に加え、歯周病の恐ろしさに関する周知啓発			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 定期的な歯科健診の受診を促す			A	計画どおりに実施できた 理由:作成した啓発動画やチラシ・ポスター等を活用した周知啓発を行ったため		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 歯周病の恐ろしさに関する周知啓発により、歯周病検診の受診者数の増加 市民対象のアンケートを実施し、歯科の受診状況について把握			A	各種行事で歯周病予防動画を周知し、受診者数は前年度比94.8%。市民アンケートの結果、45～64歳の歯科受診率は48.5%(R4)→61.3%(R7)と改善		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 40歳を対象に無料受診券を送付するほか、特定×大腸無料受診券の送付、KDBを活用した歯科受診勧奨を行う			B	特定×大腸無料受診券希望者は110人→153人と増加したが、40歳の無料受診券利用率がR5年度4.9%、R6年度4.0%、R7年度3.7%と年々減少しているため		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 歯周病検診を受診することで、自身の口腔内状況を把握する			A	計画どおりに実施できた 理由:受診により、自身の現在の口の状況の把握や今後気を付けることなどの知識を得ることができているため		
令和8年度 事業計画								
取組方針		・歯周病検診の委託実施 ・歯周病に関する正しい知識や予防法の啓発 ・40歳を対象に無料受診券の送付 ・特定健診×大腸がん検診受診者への無料受診券の発行・送付						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) ①歯周病検診受診による歯周病やむし歯の早期発見、早期治療…受診者数前年度比増(R7:925人) ②歯と口の健康に関心を持ち、丁寧なケアを心掛ける…デンタルフロスの使用者前年度比増(R7:72.4%) ③定期的に歯科健診を受ける習慣が身につく…定期歯科健診受診者の増加(R7:67.3%)						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) ①歯周病検診を受ける ②デンタルフロスや歯間ブラシの使い方を学び、継続的に使用する ③歯周病検診受診後に治療や予防で歯科を受診する						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) ①様々な媒体(健診まるわかりガイド、糖尿病歯周病の相互関係を示すポスター等、歯周病予防啓発動画など)を活用し歯周病に関する知識の提供 ②40歳に送付する無料受診券のデザインに工夫を凝らし、利用率(受診率)の向上 ③特定健診の結果から噛みづらい噛めないと答えているものの歯科受診が見られない方に対し、受診勧奨の実施						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) ①40代から歯を失う人が急増することの情報の提供により、自分ごととして認識する ②歯ブラシのみでは6割の汚れしかとれずデンタルフロス等の使用が有効であることの周知により、歯と歯の間の清掃への関心を得る ③痛みや症状がなくとも歯科健診を受けることの重要性を理解する						
令和6～令和12年度の実績について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	受診者数	976人	925人					
②	40歳無料受診券の利用者率(受診者率)	4.0%	3.7%					
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		6 楽しく子育て応援教室						
担当課・団体		静岡市食生活改善推進協議会						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		(4)よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進						
主な第4次食育推進計画数値目標		毎日1回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合 85%以上						
取組内容		食育5つの力として、1食べ物の味がわかる力 2食べ物の命を感じる力 3食べ物をえらぶ力 4料理ができる力 5元気なからだが分かる力を学び、おやつづくりなど料理をして子どもとその保護者が食を楽しむ場を提供						
現状・課題		(現状)子どもの頃から望ましい食生活を実践できるような知識の普及に取り組んでいる (課題)食に関心のない保護者にも参加をしてもらうための周知方法						
令和12年度末目標値		各地区で年1回以上開催し、共食の重要性等についても啓発する						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・年30回実施 (ふじのくに食育教室・子どものみを対象とした教室も含む)			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 親子で食事を楽しむ機会の増加			S	計画を上回る41回の開催により、親子で食事を楽しむ機会が増加した		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 子育て世代が家庭で実践しやすいレシピの提供を行い、親子で一緒に食卓を囲む機会につなげる			A	子育て世代が家庭で実践しやすいレシピの提供を行い、親子で一緒に食卓を囲む機会につなげた		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食推協の各々の教室について周知し、活動について理解する市民の増加			A	各地区での教室開催を通じ、食推協の活動について周知を図った		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 子育て世代が食事作りの楽しさを知る			A	おやつ作り等の体験を通じ、子育て世代が食事作りの楽しさを知る機会を提供した		
令和8年度 事業計画								
取組方針		年24回実施 (静岡県食育教室・子どものみを対象とした教室も含む)						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 親子で食事を楽しむ機会の継続的な提供						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 子育て世代が家庭で実践しやすいレシピの提供を継続し、教室参加をきっかけに日常の食卓での親子の共食につなげる						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 各地区での定期的な開催体制を維持し、食推協の活動について周知する機会を継続的に確保する						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食育の5つの力をテーマにした体験型の教室を通じ、子育て世代が食事作りの楽しさを実感し、家庭での実践意欲を高める						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教室の開催	30回	41回					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		7 公立こども園における食育推進事業						
担当課・団体		こども園課						
基本方針		若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進						
主な基本施策		(5)食育の普及啓発・情報発信						
主な第4次食育推進計画数値目標		・食育に関心を持つ若い世代の割合 85%以上 ・食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合 80%以上						
取組内容		体験や給食を通し、食習慣の取得の啓発を実施。食育だよりやレシピを配布し、保護者への情報提供を行う						
現状・課題		(現状)「かむ力」についての食育活動が実施できている (課題)子どもの咀嚼力が弱く、継続的な支援が必要						
令和12年度末目標値		各こども園での食育活動の継続 子どもの食に関する課題を把握し、効果的に食育を実施						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・「かむ力」の課題に対する食育を継続実施 ・各こども園の食育担当者等に対して食育活動の支援を行う			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 以前と比べてよく噛んで食べるようになった子どもの割合の増加			A	約9割の園で、よく噛んで食べるようになったと回答があったため		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 姿勢よく、両方の歯で、30回以上噛んで食事をとることができる			A	約9割の園で、ポイントを意識して食事をとることができると回答があったため		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) かむことを意識した献立を月1回以上実施及びかみかみ献立提供日にはかみかみPOPを掲示し保護者へ情報提供 保育教諭や給食担当者が子どもに対して、よく噛んで食べることの声掛けを実施			A	給食室のある園の約9割で毎月、かみかみメニューを提供していたが、かみかみPOPの掲示をその都度掲示している園は約5割(時々を含むと8割)であった。しかし、こども園職員による、子どもへの「よく噛む」ことへの声掛けを行っている園がほとんどのため総合的に見てAとした。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 全園で子どもに対し「よく噛んで食べよう」の食育を実施			A	全園で実施したため(乳児のみの園除く)		
令和8年度 事業計画								
取組方針		・「かむ力」の課題に対する子どもへの食育を継続実施する。 ・保育教諭や保護者向けに「噛むこと」の大切さを発信する。						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 以前と比べてよく噛んで食べるようになった子どもの割合の増加						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 姿勢よく、両方の歯で、30回以上噛んで食事をとることができる						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) かむことを意識した献立を月1回以上実施及びかみかみ献立提供日にはかみかみPOPを掲示し保護者へ情報提供 保育教諭や給食担当者が子どもに対して、よく噛んで食べることの声掛けを実施 こども園運営課から保育教諭や保護者へ「噛むこと」の大切さについて給食だより等で発信						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 全園で子どもに対し「よく噛んで食べよう」の食育を実施						
令和6～令和12年度の実績について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	毎月、かみかみメニューの提供	毎月実施	毎月実施					
②	よく噛むことの食育活動の実施	54園	50園					
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		8 食に関する情報発信						
担当課・団体		学校給食課						
基本方針		若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進						
主な基本施策		(5)食育の普及啓発・情報発信						
主な第4次食育推進計画数値目標		・食育に関心を持つ若い世代の割合 85%以上 ・食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合 80%以上						
取組内容		学校給食ウェブサイト等を活用して、食育に関わる情報全般を発信						
現状・課題		(現状)R5に教育活動の中で学校給食ウェブサイト等を活用した学校の割合 13.4% (課題)目標値の達成						
令和12年度末目標値		教育活動の中で学校給食ウェブサイト等を活用した学校の割合 80%						
令和7年度 事業計画								
取組方針		各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 学校給食ウェブサイト等を見たことがある児童生徒の割合 50%			A	学校給食ウェブサイトや食育動画(学校給食課作成)の学校での活用率が49%であったため。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 献立表による学校給食ウェブサイトの周知を年1回以上実施した学校給食施設の割合 100%			A	全施設の献立表にて、年1回以上学校給食ウェブサイトの周知を実施したため。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 学校給食課年刊紙「食事to健康」の年1回以上の作成及び学校給食ウェブサイトへのアップロード			A	作成し、令和7年5月末よりウェブサイトにて公開しているため。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 静岡市内の学校給食施設の栄養教諭等による、学校給食ウェブサイトへのブログ記事作成 年20回以上			A	21回記事を作成・アップロードしたため。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 学校給食ウェブサイト等を見たことがある児童生徒の割合 50%						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 献立表による学校給食ウェブサイトの周知を年1回以上実施した学校給食施設の割合 100%						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 学校給食課年刊紙「食事to健康」の年1回以上の作成及び学校給食ウェブサイトへのアップロード						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 静岡市内の学校給食施設の栄養教諭等による、学校給食ウェブサイトへのブログ記事作成 年20回以上						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教育活動の中で学校給食ウェブサイト等を活用した学校の割合	54.50%	49%					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		9 食に関する指導						
担当課・団体		学校給食課						
基本方針		若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進						
主な基本施策		(6)規則正しい食習慣の実践						
主な第4次食育推進計画数値目標		・栄養バランスに関わる食育を、栄養教諭・栄養士を活用して実施した学校の割合 100％ ・学童期や思春期に関わる食育を実施した学校の割合 80％以上						
取組内容		栄養教諭・栄養士が児童生徒へ食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくよう支援						
現状・課題		(現状)R5に各学年1回以上実施した割合89.6％(126校中112校で実施) R5の小中学校別実施率 小学校92.7％ 中学校83.6％ (課題)目標値の達成						
令和12年度末目標値		各学年1回以上実施した食に関する指導の割合95％(小学校94％、中学校85％)						
令和7年度 事業計画								
取組方針		各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 「好き嫌いなく食べようとしている」児童生徒の割合 60％以上			B	R7の食育に関する児童生徒アンケートの結果、好ききらいなく食べることができた児童生徒の割合が45.2％となり、目標に対する達成率が約75％だったから。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 栄養教諭・栄養士を活用した食に関する指導を各学年1回以上実施			B	全校実施の目標に対して、R7の食育推進状況調査の結果実施率が小中学校併せて86.2％であったから。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食に関する指導の全体計画を作成している学校の割合 100％			A	全校にて全体計画の作成が実施されたため。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食に関する指導の全体計画作成において、各種調査結果(既存の調査、前年度評価指標とした項目を含む)、観察等に基づき、自校の児童生徒の実態を表す具体的数値を記述している学校の割合 90％			A	全体計画において、具体的数値を示していた学校の割合は90.7％だったから。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 「好き嫌いなく食べようとしている」児童生徒の割合 60％以上						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 栄養教諭・栄養士を活用した食に関する指導を各学年1回以上実施						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食に関する指導の全体計画を作成している学校の割合 100％						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食に関する指導の全体計画作成において、各種調査結果(既存の調査、前年度評価指標とした項目を含む)、観察等に基づき、自校の児童生徒の実態を表す具体的数値を記述している学校の割合 90％						
令和6～令和12年度の実績について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	栄養教諭・栄養士によるTT授業	91.20％	86.20％					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		10 しずおかカラダにeat75						
担当課・団体		健康づくり推進課						
基本方針		若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進						
主な基本施策		(6)規則正しい食習慣の実践						
主な第4次食育推進計画数値目標		主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 50%以上						
取組内容		民間事業者・高校・大学等と連携し、食育教室やイベントを開催。若い世代の「食」を通じた健康づくり事業を実施						
現状・課題		(現状)若い世代の食に関する課題が他年代と比べて、多い傾向にある (課題)若い世代が健全な食生活を次世代へつなげていくことができる食育の推進						
令和12年度末目標値		若い世代の食に関する課題解決を目的とした食育教室・イベント等を開催し、食育の普及啓発・情報発信をする						
令和7年度 事業計画								
取組方針		①大学と共催で野菜摂取を目的としたイベントを2回開催 ②高校での食育講座(郷土料理の伝承)を1回実施 ③新社会人向け食育講座を5回実施				評価 (S～C)	評価の理由	
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) ①野菜が不足している学生が、頑張って食べるように意識する ②静岡市の郷土料理について関心をもち、積極的に食べるように意識する ③朝食を摂取の必要性を理解し、朝食摂取の習慣を身につける				A	アンケートでは「今後、野菜摂取量を増やしたい」と回答した学生は81%、「郷土料理を積極的に食べるよう意識する」と回答した学生が65%であり、食に対する意識向上につながったため。	
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) ①大学の協力により、食堂を利用する学生に無償で野菜料理(1皿70g)を提供し、野菜1皿の目安を知る ②郷土料理についての講義を通して関心を高め、調理実習を通して作り方を知る ③朝食摂取がテーマの講義、グループワークを通して自身の食生活を振り返る				A	野菜料理の提供や朝食に関する講話を実施し、健康的な食行動を考える機会となった。また、アンケートでは「郷土料理への興味・関心が高まった」と回答した学生が96%であり、地域の食文化への理解促進につながったため。	
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) ①野菜の摂取状況を数値として見える化できる測定会を実施 ②調理実習を実施し、実際に郷土料理を調理・試食する機会を提供する ③ニーズに合わせた簡単朝食レシピを配布				A	野菜摂取状況測定会を2回、郷土料理の調理実習を1回実施するとともに、簡単朝食レシピを配布し、健康的な食生活を実践しやすい環境づくりにつながったため。	
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) ①1日の目標野菜摂取量や野菜の上手なとり方について知る資料の配布。食育SATシステムを利用し、栄養バランスについても確認をする。 ②郷土料理に関する資料の配布。調理実習を通して、郷土料理の作り方や味を知る。 ③朝食の役割と、朝食摂取を実践するためのスキルを身につける。				A	講話や調理実習、配布資料などを通じて、野菜摂取や郷土料理、朝食の役割に関する知識の習得と理解促進につながったため。	
令和8年度 事業計画								
取組方針		①大学と共催で野菜摂取を目的としたイベントを2回開催 ②高校での食育講座(郷土料理の伝承)を1回実施 ③新社会人向け食育講座を5回実施						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) ①野菜が不足している若い世代が、野菜を食べることを意識する ②静岡市の郷土料理について関心をもち、食文化への理解を深める ③朝食摂取の必要性を理解し、朝食摂取の習慣につなげる						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) ①大学と連携し、野菜料理(1皿70g)の提供や測定会を通して、野菜1皿の目安を知る ②郷土料理についての講義や調理実習を通して関心を高め、作り方や特徴を知る ③朝食をテーマとした講義やグループワークを通して、自身の食生活を振り返る						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) ①野菜の摂取状況を数値として見える化できる測定会を実施 ②郷土料理を調理・試食する機会を提供する ③ニーズに合わせた簡単朝食レシピを配布する						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) ①1日の目標野菜摂取量や栄養バランスについて学ぶ ②郷土料理の作り方や特徴について学ぶ ③朝食の役割や、朝食摂取を実践するための方法について学ぶ						
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	食育教室・イベント等の開催	6回	8回					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		11 栄養素について学ぶ						
担当課・団体		静岡市私立幼稚園連合会						
基本方針		若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進						
主な基本施策		(6)規則正しい食習慣の実践						
主な第4次食育推進計画数値目標		主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 50%以上						
取組内容		乳幼児とその保護者に対し、3種類の栄養素について、身近な食材を用いて食育講話を行う						
現状・課題		(現状)子どもに分かりやすく工夫して、伝えている (課題)幼児のため理論的な理解は難しいため、興味が持てるような媒体等の検討						
令和12年度末目標値		各幼稚園で食育活動を実施						
令和7年度 事業計画								
取組方針		食育に関して興味が持てるような教材を利用し、栄養素などを伝えていく			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 食べることに興味を持ち、栄養素について子どもなりに理解する			A	計画は適切であった		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 給食だよりの3色に色分けされた使用材料の部分の説明を聞きながら、色を塗って確認する			A	計画は適切であった		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 給食だよりを子どもでも読めるように、ひらがなで記載し、理解できるよう作成する			A	計画通りに実施できた		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 3つの食品群が持つ体への働きと、食べることに興味を持ち、食べることが自身の体づくりの土台となっていることを理解する			A	計画は適切であった		
令和8年度 事業計画								
取組方針		食育に関して興味が持てるような教材を利用し、栄養素や食の大切さなどを伝えていく						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 食べることに興味を持ち、栄養素について子どもなりに理解する						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 給食だよりの3色に色分けされた使用材料の説明を聞きながら、色を塗って確認する						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 給食だよりを子どもでも読めるように、ひらがなや絵を用いて記載し、理解できるよう作成する						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 3つの食品群が持つ体への働きと、食べることに興味を持ち、食べることが自身の体づくりの土台となっていることを理解する						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	給食だよりの赤・緑・黄色の色塗り	実施	実施					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		12 食品ロス削減対策事業						
担当課・団体		ごみ減量推進課						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(7)環境に配慮した食生活の実践						
主な第4次食育推進計画数値目標		・食品ロス削減のために行動をしている市民の割合 75%以上						
取組内容		ごみ削減講座の開催、30・10運動の推進等を通じて、食品ロス削減に対する意識向上を図り、ごみ減量を推進。						
現状・課題		(現状)市民の食品ロス削減に対する意識向上を図っている。 (課題)食べ物を残すことが「もったいない」という意識が薄れているため、意識を変革させる取組が必要。						
令和12年度末目標値		・食品ロス啓発機会の確保 年50回以上 ・市内事業者や団体との連携による幅広い啓発活動の実施						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・フードドライブ啓発キャンペーン 年2回実施 ・出前講座 年40回実施 ・Instagramでの食品ロス削減啓発に関連する投稿 年10回実施			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 事業アンケート等により「食品ロス削減の取組を意識的にやっている」の回答率 80%以上			A	計画どおりに実施できた。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) スーパー等における「手前どり」の推奨や、「フードドライブ」への参加等について、イベントやキャンペーンで働きかける			S	計画を上回ることができた。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食品ロスに関する情報をInstagramにて定期的に発信する			B	食品ロスに関する周知については、出前講座などを通じて積極的に行うことができたが、Instagramでの発信が少なかったため。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食品ロス削減に向けた意識の醸成を図るために、小・中・高校において出前授業を実施			S	計画を上回ることができた。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		ごみ減量啓発講座(食品ロス)の実施						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) ごみ減量啓発講座を市内小学校の80%が受講すること						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) ごみ減量啓発講座の案内を各学校へ年2回以上周知する						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 食品ロスに関する出前講座の情報をInstagramにて発信する						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食品ロス削減に向けた理解度を高めるために、わかりやすい授業資料の作成を行う						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	食品ロス啓発機会の確保	14回	11回					
②	他団体との連携による啓発活動	133回	106回					
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		13 地場産物を取り入れた献立の提供						
担当課・団体		学校給食課						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(8)地産地消の推進						
主な第4次食育推進計画数値目標		・地元(静岡市)で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上 ・地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合 35%以上 ・郷土食・伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 30%以上						
取組内容		県内産食材や地域の食文化を生かした献立を提供する						
現状・課題		(現状)学校給食における地産地消率 41.3%(6、11月のふるさと給食週間に調査) (課題)地産地消率を伸ばすことは条件的に困難であり、維持を目指している						
令和12年度末目標値		静岡市の学校給食における地産地消率40%台を維持						
令和7年度 事業計画								
取組方針		静岡市の学校給食における地産地消率40%以上(経年評価)			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 学校給食で使われている地場産物や郷土食について知っている児童生徒の割合 30%			C	R7の食育に関する児童生徒アンケートの結果、学校給食において静岡の食べ物かを確認しながら食べることができている児童生徒の割合が16.6%だったから。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 地域の地場産物や食文化について話題にしている学校の割合 70%			B	R7の食育推進状況調査の結果、地場産物等に関する食育を実施した学校の割合が61.0%だったから。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) ふるさと給食週間ににおける地産地消40%以上			A	令和7年度のふるさと給食週間ににおける地産地消率が39.4%だったから。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 静岡の食べ物を知っている児童生徒の割合 50%			B	R7の食育に関する児童生徒アンケートの結果、地場産物等に関する学習を覚えている児童生徒の割合が38.9%だったから。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		静岡市の学校給食における地産地消率40%以上(経年評価)						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 学校給食で使われている地場産物や郷土食について知っている児童生徒の割合 30%						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 地域の地場産物や食文化について話題にしている学校の割合 70%						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) ふるさと給食週間ににおける地産地消40%以上						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 静岡の食べ物を知っている児童生徒の割合 50%						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	ふるさと給食週間の実施	学校給食全調理施設において実施	学校給食全調理施設において実施					
②	ふるさと給食の日の実施	学校給食全調理施設において実施	学校給食全調理施設において実施					
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		14 地産地消活動(商店街・店頭販売)						
担当課・団体		清水農業協同組合						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(8)地産地消の推進						
主な第4次食育推進計画数値目標		・地元(静岡市)で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上						
取組内容		地場産品の販売						
現状・課題		(現状)各地域女性組織を中心に活動 (課題)継続実施						
令和12年度末目標値		・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 継続して今後も13組織で販売する			A	継続して13組織で販売出来た。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 研修会等への参加			—	-		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 地域の消費者へ食料の安定供給と地産地消の増進を図る			—	-		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 組織ごと来店客との交流を通じて、地域の消費者が求める農産物が何かを知り、組織で共有する			—	-		
令和8年度 事業計画								
取組方針		・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 継続して今後も13組織で販売する						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 研修会等への参加						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 地域の消費者へ食料の安定供給と地産地消の増進を図る						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 組織ごと来店客との交流を通じて、地域の消費者が求める農産物が何かを知り、組織で共有する						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	地場産品の販売	実施	実施					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		15 しらすを食べる会						
担当課・団体		清水漁業協同組合						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(8)地産地消の推進						
主な第4次食育推進計画数値目標		地元(静岡市)で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上						
取組内容		より多くの方に、しらすなどの静岡市水産物の良さを知ってもらい、消費者と生産者を結び付け、地元の水産物に触れる機会を提供						
現状・課題		(現状)近年、しらす漁不漁が続き魚価高騰のため、原魚確保が困難 (課題)しらすの好不漁があり、生しらすの提供ができるか不明						
令和12年度末目標値		地元ブランド(しらす)の普及啓発の継続						
令和7年度 事業計画								
取組方針		地元ブランド(しらす)の普及啓発の継続			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 地元ブランド(しらす)の普及啓発			A	計画通りに実施できた		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) イベントを計画通りに実施する			A	計画通りに実施できた		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) イベント主催者と協議しながら、PR活動を実施			A	計画通りに実施し、用宗のしらすをPRできた。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) イベントで試食や体験等を通して、地元の水産物について知ってもらう			A	不漁の影響があったが、生しらす40kg 釜揚げしらす30kgを提供することができた。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		地元ブランド(しらす)の普及啓発の継続						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 地元ブランド(しらす)の普及啓発						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) イベントを計画通りに実施する						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) イベント主催者と協議しながら、PR活動を実施						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) イベントで試食や体験等を通して、地元の水産物について知ってもらう						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	イベントの開催	実施	実施					
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		16 生消菜言倶楽部(せいしょうなごんくらぶ)						
担当課・団体		静岡市農業協同組合						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(9)農林漁業生産者と消費者との交流						
主な第4次食育推進計画数値目標		農林漁業体験をしたことがある市民の割合 40%以上						
取組内容		生産者と消費者による農作業や加工品作りの実施や意見交換を行う						
現状・課題		(現状)大豆やサツマイモのつるさしから収穫まで、一連の農作業を行っている (課題)女性部の高齢化に伴い、実施方法等を検討する必要がある						
令和12年度末目標値		年間7回開催、参加者200人目標						
令和7年度 事業計画								
取組方針		農産物の栽培から収穫を通して、生産者と消費者が意見交換し、農業への理解を深め、地産地消を推進する			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 年間コースの参加 80%以上			A	全7回の参加率82.3%		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 参加者が地元の農産物を前年度より多く購入する			A	会の前後に販売所で買い物をしている。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 参加者が市産農産物を理解する場所を提供する			A	生産者が毎回作物の状況を説明することで、市農産物の作況を理解できた。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 参加者が農業に対して理解度を深める 80%			A	区画分けされた自らの圃場の管理を通して、農作物の栽培だけでなく、農薬や肥料、JAや販売所について幅広く理解することができた。		
令和8年度 事業計画								
取組方針		圃場管理するメンバーの高齢化に伴い、検討を重ねたけれど事業の終了を決定。						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください)						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標)						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか)						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標)						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	農作業体験	実施	実施	事業の廃止				
②	料理教室	実施	実施	事業の廃止				
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		17 食育応援団						
担当課・団体		健康づくり推進課						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(10)食文化の継承						
主な第4次食育推進計画数値目標		・食育の推進に関わるボランティア団体等において活動する市民の数 1,500人以上 ・地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合 35%以上						
取組内容		食育に取り組む市民からの依頼によりその内容にあった応援団を紹介する						
現状・課題		(現状)応援団講師の数が年々減少傾向にあり、一部の講師に負担が集中する場合がある (課題)応援団講師を増やしていくことが課題						
令和12年度末目標値		食育応援団パンフレットの作成及び配布、応援団派遣件数50件、応援団講師の新規登録						
令和7年度 事業計画								
取組方針		・食育応援団パンフレットの作成及び配布 ・応援団派遣件数 50件				評価 (S～C)	評価の理由	
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 食育応援団派遣件数 50件以上				A	食育応援団の派遣件数について、50件実施し、目標を達成した。食に関する知識や食文化を学ぶ機会を提供することができた。	
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 参加者が食育応援団の講座を通じ、自身の食生活の改善や食文化の継承に意欲をもつ				A	参加者が自身の食生活や地域の食文化について関心をもち、見直すきっかけづくりにつながったため。	
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食育応援団の活動について市のSNS等で紹介したり、パンフレットを配布し、市民へ周知する				A	ホームページへの掲載や、パンフレットを作成・配布により、市民が食育応援団を活用しやすい環境を整えた。周知活動を継続したことにより、目標件数の派遣につなげることができた。	
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 市民の継続的な食に関する知識を得る機会を増やす 分かりやすいパンフレットの作成・配布				A	50件の派遣を通じて、市民が食に関する知識を継続的に得る機会を提供した。わかりやすいパンフレットを作成・配布し、市民が食に関する知識を得る機会の増加を図った。	
令和8年度 事業計画								
取組方針		・食育応援団パンフレットの作成及び配布 ・応援団派遣件数 50件						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 食育応援団派遣件数50件以上継続し、市民が食文化を学び次世代へ継承していける地域づくりをすすめる						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 参加者が食育応援団の講座を通じ、自身の食生活の改善や食文化の継承に意欲をもつ						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) パンフレットの継続配布とSNS等による周知により、食育応援団を必要とする市民が活用しやすい環境を維持する						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 市民が食に関する知識を継続的に得られる機会を確保し、応援団講師の新規登録にも取り組む						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	応援団派遣件数	65件	50件					
②								
③								

21

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
No. 事業名		18 お茶の美味しい入れ方教室						
担当課・団体		農業政策課						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(10)食文化の継承						
主な第4次食育推進計画数値目標		・茶葉から入れた緑茶を飲む市民の割合 60%以上						
取組内容		小学生が一人ひとり茶器に触れ、茶葉でお茶を入れる体験を実施し、お茶の飲み比べや味の違いを体験する						
現状・課題		(現状)毎年多くの学校が希望し、実施後の満足度が高い (課題)事業実施スケジュールとカリキュラムの関係で未実施になってしまう学校がある						
令和12年度末目標値		お茶の美味しい入れ方教室を希望する全ての市内小学校で実施						
令和7年度 事業計画								
取組方針		静岡市内小学校全87校へ希望調査を取り、お茶の美味しい入れ方教室を希望するすべての市内小学校で実施。			評価 (S～C)	評価の理由		
結果目標 (アウトカム)		(市民にもたらしたい変化を具体的に示した目標) 授業を受けた児童が急須でお茶を飲みたいを思う割合が60%(実施後アンケート)			S	実施後のアンケートで、これからも急須で入れたお茶を飲みたいと思うと回答した割合が82.1%と期待を上回ったため		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 授業を受けた児童が、家庭でお茶を飲む機会が増えた割合が60%(実施後アンケート)			S	実施後のアンケートで、入れ方教室受講後、ご家庭でお茶を飲む機会が増えた・やや増えたと回答した割合が69.9%と期待を上回ったため		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 事業を受けた児童が、家庭で保護者と教室の復習ができるように一煎パックを配布する。			A	計画どおり実施できた		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) お茶の美味しい入れ方と静岡市のお茶について学ぶ事業を実施する。			A	計画どおり実施できた		
令和8年度 事業計画								
取組方針		静岡市内小学校全82校へ希望調査を取り、お茶の美味しい入れ方教室を希望するすべての市内小学校で実施。						
結果目標 (アウトカム)		(この事業で市民にもたらしたい変化・アウトカムを記入してください) 授業を受けた児童が急須でお茶を飲みたいを思う割合が60%(実施後アンケート)						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 授業を受けた児童が、家庭でお茶を飲む機会が増えた割合が60%(実施後アンケート)						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 事業を受けた児童が、家庭で保護者と教室の復習ができるように一煎パックを配布する。						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) お茶の美味しい入れ方と静岡市のお茶について学ぶ事業を実施する。						
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教室の実施	70校実施	72校実施					
②								
③								